

# OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) T.S.  
所属 (School) 工学域電気電子系学類  
学年 (Grade) 2年  
留学先 (Name of overseas institution)  
トゥーレーヌ学院  
留学期間 (study abroad period)  
2022/8/27~2022/9/19  
記入日 (Date) 2022/9/29

## 留学レポート Study Abroad Report

### 【きっかけ】

僕は大学で第二外国語としてなんとなくフランス語を取りましたが、僕はこの言語を取ってよかったと思っています。なぜならフランス留学で素敵な時間を過ごすことができたからです。そもそも僕がフランスに行きたいと思ったきっかけは、フランス語を勉強するうちにフランスという国自体に興味湧いたからです。1回生のときはまだコロナ渦によりまだ行けませんでした。2回生の夏に遂に行くことができると聞いたのですぐに申し込みました。フランスについてはいろいろ聞くのですが実際どのような人柄で、どのような生活をしているのか気になっていたからです。そして何よりフランス語の上達には一番だということで即決しました。

### 【メリット】

留学することのメリットとして、何より現地の空気を肌で感じることができます。日本にいると外国の雰囲気は想像し難いですが、実際に行ってみることで国民性や文化がすぐにわかります。また、フランス語を話さないといけない状況に追い込まれるので語学力は飛躍的に向上すると思います。空気・匂い・街並み全てが日本とは違うので、毎日のようにワクワクできる場所も留学のいいところです。非日常に囲まれた生活をぜひ皆さんにも体験してほしいです。わからないときはわからないままにせず聞き返したり、事前に調べて現地に向かったりすることで、特に大きなハプニングはなく毎日過ごすことができます。もちろん良い方向に期待を裏切られることはたくさんあるので、刺激的な毎日過ごすことができます。

### 【学校】

学校に最初に着いた時は日本人が多く困惑しました。先生の話すこともほとんどわからず、レベルを下げてもらおうかと何度も悩みました。正直学校初日が一番大変でした。しかし日を重ねるごとに少しずつ先生が何を言いたいか掴めるようになり、少しずつ慣れてきました。最初はわからないことばかりだったので日本人と話すことが多かったように感じます。しかし、ある日ホストファミリーが習っている禅の日本人の先生がホームステイ先にいらっしゃったことがあります。その先生も同じトゥーレーヌ学院で留学をしていたことがあり、日本人とずっと話しているうちにフランス語の能力がどんどん下がっていったとおっしゃっていました。それを聞いて僕は日本人以外と積極的に話すようにしました。グループワークなどではもちろん、学校外でも見かけたら話しにいくようにしていました。日本に帰っても連絡の取れる外国人の友達ができることは海外留学の特権だと思います。

授業は主に文法を習った後に書いたり話したりして慣れていくというものでした。先生がたくさん質問を投げかけてくれるので話す機会が増え、クラスメイトのことをよく知る機会にもなりました。長文を読む授業は知らない語彙が多く難しかったですが、先生と少しずつわからない単語を無くしていった文章の概要が読めたときには感動しました。そうやって覚えた単語はずっと記憶に残ると思うし、これから長文にチャレンジする時の自信にもなると感じました。



授業の様子



ホームステイでの夕食

### 【ホームステイ】

僕はホームステイにあまり良い印象を抱いていませんでした。というのも、自分が高校2年生のときに初めてホームステイを経験した際、家に帰っても気が抜けない生活にしんどい思いをしたことがあるからです。だから僕はホストファミリーとはできる限り気楽に過ごし、たくさん話しかけるように心がけようと思っていました。実際、その実践のおかげですごく快適に毎日過ごすことができました。ホームステイだからといって気構える必要はなく、自分の家で過ごすように振舞って良いのだと気付いたし、家族の輪の中に飛び込むことも大事だと感じました。たとえ知らない人に囲まれることが苦手でも、フランス人はおしゃべりなのでたくさん話しかけてくれるし、相手のことをよく知るチャンスなので話しかける勇気は大事だと思います。

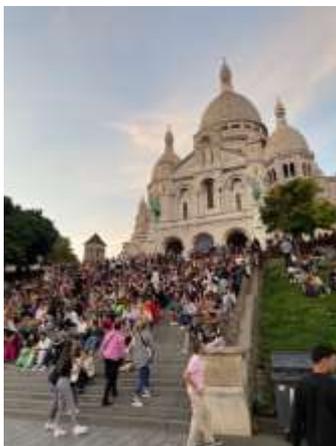
### 【気づいたこと】

海外の人と交流する時は日本のことについて詳しく知っている必要があります。会話の内容がやはり国同士の文化の違いがテーマになりやすいです。日本の文化を簡単な文で説明できる能力はとても大事だと思います。他にも僕はホストファミリーに折り紙をプレゼントしたのですが、折り鶴を折るととても喜んでくれました。外国の文化に興味がある家庭だったからかもしれませんが、折り紙を折れるようにして向こうで実演するのはとても良いプレゼントになると思います。また、日本のアニメや音楽に興味を持っている人が多かったため、次回外国に行くときはアニメの知識をもう少し入れて行きたいと思いました。フランスはパリでジャパンエキスポが開かれたように、日本の漫画・アニメ文化に興味を持っている人が多いようです。本屋さんに行けば見慣れた日本の漫画がたくさん置いてありました。それが会話のきっかけとなることが多いので、日本についてもっと知っておけばよかったと後悔しました。

フランスでは周りの人たちに巻き込まれるように積極性を手に入れることができました。例えば、フランス人は街中で人と目があたり店に入ったりすると必ず挨拶をするし、授業中でも生徒は積極的に発言したり質問したりする印象でした。その中で過ごしていると自分も最終的には積極的に話したり授業に参加することができました。日本で忘れないようにいつまでも持っていたいです。また、同じ留学に参加して一緒にフランスに来た4人とは、よく一緒に行動していたのですが、どこへ行くにも事前調査と予約・案内などの面でサポートしてくれました。自分もそれに乗ったままにならないよう計画や案内を手伝い、海外での事前調査や計画の大切さを知りました。なるべく全員で話すことが、お出かけを成功させるコツだと感じました。

### 【全体の感想】

留学は最初は勇気の必要かもしれませんが、思い切って参加してみるととても楽しく充実した日々が送れると思います。是非とも何か目標を見つけて、留学に参加してみてください。僕は出国前と帰国後では人間として大きく変わったと感じました。今回僕は3週間だけの留学でしたが、特にホームシックになることもなく、ちょうど良い期間だったと思います。僕はこの留学に参加して本当に楽しかったので、是非とも後輩に勧めたいと思ったし、フランスには次は長期間行きたいと思うようになりました。まだ時間に余裕のある大学生のうちに、海外を体験してみるのはいかがでしょうか。



サクレ・クール寺院



シャンボール城のテラスからの景色



夜のエッフェル塔